

○議長（吉田敏郎）

引き続き、一般質問を行います。なお、下山千津子議員より、資料の提示を許可しておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

1 番、下山千津子議員、どうぞ。

○1 番（下山千津子）

皆様、こんにちは。議席番号 1 番、下山千津子でございます。

通告に従いまして、町に移管された酒匂川サイクリングコースの安全確保と利用促進を、質問いたします。

酒匂川サイクリングコースが今年の 4 月 1 日に神奈川県から流域の 2 市 1 町（南足柄市・開成町・小田原市）に施設の管理が移管されました。

このコースは、南足柄市の大口広場から文命用水までの 7 0 0 メートルが、南足柄市で、南下して、足柄紫水大橋下流までの 4, 8 0 0 メートルが開成町でございます。さらに下流して、小田原市富士道橋までの 3, 4 0 0 メートル、トータルで約 8. 9 キロ、8, 9 0 0 メートルのサイクリングロードでございます。

酒匂川堤防上にある、特に川風が心地よく、平たんで走りやすいこともあり、これまで約半世紀の長きにわたり、地域内外の方々に愛されてきました。

また、このコロナ禍においては、健康維持のために、ウォーキングやランニングをする方の利用が特に増えているように見受けられております。

そこで、このサイクリングコースについては、関係機関などと協議調整をしつつ、利用者の安全確保とさらなる利用促進を図るための手立てが必要と考え、次の項目について伺います。

①管理運営の移管に係る協議・調整の経緯と具体的内容は。

②施設の維持管理のための予算措置や経費負担は。

③さらなる利用促進のために広域で連携を図っては。

④自転車のまちづくりを推進するために、サイクリングコースの利用促進策は。

以上、壇上からの質問とさせていただきます。

○議長（吉田敏郎）

教育長。

○教育長（井上義文）

下山議員の御質問にお答えをいたします。

酒匂川サイクリングコースは、青少年がサイクリングを通じて、自然に親しみながら体力の増進を図ることを目的として、昭和 4 4 年に神奈川県により設置されたもので、当初の名称は「酒匂川青少年サイクリングコース」であり、無料の自転車の貸出なども実施しておりました。

社会の変化により、青少年に限らない、一般住民の利用や、市街化の進展による生活道路化が進み、貸自転車が著しく減少し、目的と合わない実態となってきたことなどから、県は、平成 7 年 3 月に名称から「青少年」を削り、「酒匂川サイクリングコース」に変更し、地域住民の利用状況に即した管理を進めるため、地元市町

に移管する方向といたしました。

それでは、1つ目の、「管理運営の移管に係る協議・調整の経緯と具体的内容は。」について、お答えいたします。

平成12年8月に、県から2市1町への移管に向けた協議開始の依頼がありました。その後、平成28年度から議論が具体化し、平成29年7月までに3回、県と2市1町の意見交換会が行われ、平成32年度以降で移管を受ける方向を確認し、平成30年に確認書の締結を行いました。

ただし、移管に当たっての条件として、舗装やサイン看板の補修、更新などについて県に要望し、双方で立ち会った現地調査時に確認した緊急性の高い補修箇所については、令和元年度に県により補修工事が実施されています。

そして、令和2年4月1日に、2市1町に管理運営が移管されました。

2つ目の「施設の維持管理のための予算措置や経費負担は。」についてお答えいたします。

先ほど申し上げたとおり、移管に伴う市町からの要望に対して、県は平成30年度に補修要望箇所の予算調整を行い、令和元年度中に補修工事等を実施いたしました。移管後の今年度は、2市1町がそれぞれ、修繕料、委託料を予算化しております。

また、地域住民の方に安心して使用していただけるよう、毎月の定期パトロールにより、コース全体の施設点検を実施しております。町としては、今年度移管を受けた初めての年ですので、課題を抽出し、検証しながら今後の維持管理の在り方を整理してまいります。

なお、草刈りについては、過去には、県の管理のほかに、地元ボランティアの方たちや、利用団体の方々により、自主的に草刈りを実施していただいている例もございます。

3つ目の「更なる利用促進のために広域で連携を図っては。」についてお答えをいたします。

2市1町が県から移管を受けた時点で、それぞれの市町ともスポーツ担当課が所管しております。

広域連携について現状では特に考えてはいませんが、2市1町でいつでも連絡を取れる体制は整っております。

4つ目の自転車のまちづくりを推進するために、サイクリングコースの利用促進策は。について、お答えをいたします。

現状の利用状況は、サイクリングのほか、散歩やジョギング、川辺の自然観察、近隣の高校等への移動通路など、様々です。また、目的外使用としては、一般の方や学校のマラソン大会等の利用も見られます。令和元年度に実施した、「あしがらロングライドa r o u n d 開成／ライドハンターズi n 開成」は、1市5町の広域連携事業として、サイクルスポーツを通じて、多くのサイクリストの来訪機会を促すとともに、地域の特性を生かしたスポーツの振興を推進し、あわせてあしがら地域

のさらなる活性化を図ることを目的に実施した事業です。

サイクリングコースの範囲だけでは利用の仕方に限りがあるため、このようなイベントの実績も参考にしてみたいと思っております。

以上でございます。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

ただいま教育長から一定の答弁をいただきました。令和2年3月会議における予算特別委員会において、酒匂川サイクリングコースの管理運営が、4月1日から町に移管されることに伴い、その管理として、草刈りの業務委託費として、幾つかの質疑がなされました。その際に、同僚議員からこの移管に伴い、その活用幅が広がってくるのではないかという意見がありましたが、私も全く同感に思いました。

既に御承知のとおり、開成町では、自転車のまちづくりについて、全町が平たんて自転車の利用に適していることや、地球環境への負荷の低減などを目的として、特徴あるまちづくりの1つとして、長く取り組んでこられた経緯がございます。

今回、この施設の町への移管を大きな契機といたしまして、前向きに捉え、さらに安全で利用される施設となるためには、何が必要かという視点で、町に移管されて、早5か月がたちましたが、現状はどのようなになっているのかを検証するために、実際利用されている人に聞き取りをしました。さらに現場を歩いたり、サイクリングしたりしながら、特に気になった場所では写真を撮ってきましたので、御覧いただきたいと思います。先ほど、議長、おっしゃっていただきましたように、許可をいただいておりますので、よろしく願いいたします。5枚ほど、紹介いたします。

この1枚目の写真は、パークゴルフ場から土手を南下して、ふれあい館に通じるサイクリングロードでございます。御覧のとおり、道の両側が私の背丈よりも高く、雑草が生い茂り、歩くにも自転車で通るにも見通しが悪く、大変危ないと感じたところでございます。

2枚目の写真は、サイクリングコース8.9キロの中で、トイレの2つあるうちの1つのふれあい館でございます。玄関脇に案内が設置されていました。紹介しますと、土曜日、日曜日、祝日、あじさいまつり期間と夏期期間、7月21日から8月31日、使用可能な時間は、10時から15時の案内でした。ちなみに御存じの方も多いと思いますが、酒匂川の歴史と生き物が展示されており、子供たちに大変人気があるようです。また、水防倉庫には、災害に備えて防災用具が保管されております。

3枚目は、これは九十間土手の写真です。草が生い茂って、土手が見えません。御覧のとおり、アスファルト舗装が至るところで削られております。草が伸びて、道路に覆いかぶさり、通りにくくなっているという現状でございます。

昨日、午後から前日の雨量が多かったので、心配で見にいきましたら、大きな水たまりが4か所もあり、とても歩ける状態ではございませんでした。

これは草が生い茂り、案内板が草に埋もれている様子でございます。

これは祖師堂の写真です。ボランティアの先ほど御答弁にもございましたように、ボランティアの方が草を刈ってくださり、とてもきれいな状態でありました。

最後になりますが、これは足柄紫水大橋を少し南下した、小田原市栢山付近です。草が刈られ、常時管理されているようです。

以上、私が現場を見て、もう少し利用者目線に立って、安全面でも、利用面でもしっかりと管理をしていただきたいと感じたところでございますが、所管課として、現場確認して、これらの点を承知されているのか、お伺いいたします。

○議長（吉田敏郎）

教育委員会事務局参事。

○教育委員会事務局参事（遠藤孝一）

下山議員の質問にお答えをいたします。現状、写真を見させていただいたところ、確かに草がひどいというところは把握してございます。また、御指摘の九十間土手で水たまりができたというところは、サイクリングコースの維持管理外でございますので、その辺は御容赦願いたいと思います。

それで私も、このサイクリングコース、実際走ってみました。確かに小田原市内に入ると、予定通り、路肩５０センチずつをきれいに刈ってあるというのが現状です。

開成町といたしましては、８月１２日から、１０月までの工期で草刈りをするということになっていて、今週、業者が入る予定で、まさに御指摘の紫水大橋及び金井島付近は、かなりつる状の草が生えていて、コースにもちょっと覆いかぶさっているというようなことがありますので、そこはお彼岸前に解消する予定でございます。

あと土手の看板云々というところは、神奈川県管理の部分でございますので、その辺は今後、県が土手を草刈りする時に、多分毎年１１月頃刈っているかと思うのですが、その時に解消するというふうに考えてございます。

また、トイレの話がございましたが、これについては、酒匂川ふれあい館の開館時間でございますので、ぜひ水辺スポーツ公園の開館日は、トイレが利用できるもので、そちらを使う。あるいは南足柄市内の大口は、常にトイレが開いていますので、そちらを使う等を利用していただければと思います。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○１番（下山千津子）

この施設の管理を町に移管されて初めての年度でございますから、草刈りをする時期とか、必要な回数などは、よく分からないことがあるのでございますが、常日頃から現場を確認していくことで、気づきができると思いますので、今後、管理責任という点からも、しっかりと安定した管理をぜひお願いしたいと思います。

トイレの件は、理解させていただきましたので、よろしくお願いいたします。

それでは、問1から、随時再質問をさせていただきます。管理運営の移管に関わる協議、調整の経緯と具体的内容について、お伺いいたします。まず、基本的なことをお伺いいたしますが、そもそも県が整備を長い間管理してきたこの施設を、地元、市町に維持管理を移そうとした県のお考えはどのようなことからでしたか、お伺いします。

○議長（吉田敏郎）

教育委員会事務局参事。

○教育委員会事務局参事（遠藤孝一）

お答えいたします。実際、神奈川県は、サイクリングコースというものが、酒匂川だけではなくて、3か所ほど持っていたということでございます。正直なところ、ここの維持管理は、かなり負担になってきたということもあろうかと思えます。それによって、地元の酒匂川サイクリングコースについては、2市1町、ここに移管をしたいということが、先ほど教育長答弁にもありましたとおり、投げかけられました。県としては、地元が移管を受けなければ、廃止をするというようなことで考えていたようでございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

きめ細やかなサービスという点では、1年を通じて、コースの安全性や環境議会の取組が整えられていることが必要と考えてございますが、20年ほど前から、移管に向けた協議や調整がされてきたということで、今、参事が御答弁いただきました内容で理解はするのでございますが、県に対して管理を受託する市や町として、どのような条件や要望を提示して、交渉を重ねてきたのか、お伺いします。

○議長（吉田敏郎）

教育委員会事務局参事。

○教育委員会事務局参事（遠藤孝一）

もちろん移管を受けるには、当然、舗装、あるいはサイン設置等、看板が傷んでいるというようなことがありましたので、これを神奈川県が一括に整備をし、最終的には、カタログまで作っていただいて、地元の観光施設等の紹介をしてくれマップ等を作っていただいて、そういうことを協議しながら、最終的には、全てをのんでもらったわけではございませんが、補修するところは補修し、きれいな看板を設置するところは設置し、あるいは安全の標識等を整備するという条件で、2市1町が移管を受けたということでございます。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

理解いたしました。今年度予算として、当初予算に４６万１，０００円が計上されて草刈り業務委託費が計上されておりました。予算審議の中で、県はお盆に１回業務委託により草刈りを実施しておりということで、先ほど参事が御答弁いただいた内容でございます。

しかしながら、利用されている人からは、小田原のほうはいつもきれいに草が刈ってあるけれど、開成町に入ると草がぼーぼーで危険であるとか、現状を見て、安全確保の意味でも、きれいな状態にしておいてほしいねといった声が多く聞かれました。年間を通じて、常にきれいな状態を維持することは、草刈りが先ほど御答弁ありましたように、１回や２回ぐらいでは、なかなか年間を通して、常にきれいな状態ではないように私は考えられるのですが、その点、今後の町のお考えをお聞きいたします。

○議長（吉田敏郎）

教育委員会事務局参事。

○教育委員会事務局参事（遠藤孝一）

御指摘のとおり、小田原市と開成町、管理の状況がちょっと差があるという御指摘を受けたということでございます。先ほども述べたとおり、お彼岸までにはきれいになりますよという話ですが、一応のこの業者１社だけに全てを任せているという状況でなく、開成町内の水辺スポーツ公園エリアのサイクリングコースにおいては、指定管理者のほうのボランティアで管理がされていたり、あるいは利用の団体の中で、自主的に自分たちが使う前、あるいは県が草刈りをした時期を除いて、ボランティアできれいにしていただいていたという経緯もありますし、今後もそれは継続させていただきたいと思います。

また、利用団体でなく、地元の自治会で組織をしていただいて、土手沿いのサイクリングコースの部分もボランティアでやっていたというふうなお話も伺っています。しかしながら、苦情が出るような草刈りの状況というのは、余りよくないので、最悪の場合は、そこをまず自分たちで、職員が自ら刈るということも考えましたが、一応彼岸前に刈ることが約束されましたので、今年度はそれで対応する。御指摘のように、初めての管理だから、草が云々というお話がありましたので、今年度の年間の草の生え具合というものを研究しながら、次年度、役立てていきたいと考えています。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○１番（下山千津子）

今年度初めてなのでということで、様子を見ながら、次年度に考えていかれるということで、期待しておりますので、いつでもやはり安全で安心なサイクリングコースに堅持していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたしたいと思います。

そういった取組を推進していただきたいということと、あとは3項目めの「更なる利用促進のために、公益で連携を図っては。」について、お伺いいたします。

利用者目線に立った場合、起点の南足柄市大口広場から終点の小田原市富士道橋までを一体化して、補修及び管理していくことが望ましいと考えておりますが、整備時期や、作業時期などについて、2市と定期的に打合せなどをもち、情報共有をしていくことで、一体的なサービス向上につながるのではないかと考えますが、町の御所見をお聞きいたします。

○議長（吉田敏郎）

教育委員会事務局参事。

○教育委員会事務局参事（遠藤孝一）

これは今まで神奈川県が一括でやってきた時代と、2市1町で分かれてやっていく状況ということで、ちょっと今年度、要するに発注時期というものが、管理の発注時期が同一でなかったというようなこともありますけれども、そういうスポーツ的な利用も考えられるということで、小田原市においては、文化部のスポーツ課、南足柄市においては、市民部の文化スポーツ課、開成町においては、教育委員会の生涯学習課がスポーツ担当でございます。しかしながら、幅の狭い、2メートルという幅のサイクリングコースに、人が余りにも集まるというようなイベントって、逆に危ないのかなというような発想があります。歩くあるいはマラソンについては、実施されているという状況ではありますが、先ほど教育長答弁の最後にありました、足柄ロングライドあるいは、ライドハンターズというサイクルスポーツのイベントを昨年実施いたしました。これはかなりお金のかかることなのですけれども、こういうことをやった実施経験を基に、2市1町に限らず、広域でこのようなイベント、その拠点に水辺スポーツ公園をできたらいいなというふうに考えてございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

ただいまの御答弁で、今はコロナ禍で大変な時代に入っておりますが、今回、事業が中止ということで、取り止めになってございます。やはりこういった自然を相手にしたサイクリングコースでございますので、今はオンラインで会議ができるというような時代でございますので、そういった点で気をつけながら、今後もイベントを開催していただければありがたいなというふうに思っております。ぜひその点でもよろしくお願ひしたいと思ひます。

関連で、イベントについてでございますが、例えば、協働事業などの企画立案や、それを実行するための協議会などの設置を進めてみてはいかがでしょうかということをお伺いしたいと思ひます。

先ほど、オンライン会議が、現在行われているような時代ですので、ぜひそういった意味での2市1町協力して、移管されたサイクリングコースを常にいろいろな

事業を行って、町民に喜ばれるような取組をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

教育委員会事務局参事。

○教育委員会事務局参事（遠藤孝一）

お答えいたします。一応スポーツ担当課がそれぞれ担当しているというところで、担当者レベルで、その辺の打合せ等はできる。あるいはそこからまた波及して、イベントという話になるかと思いますが、先ほども述べたとおり、ここに人を結集するというのは、かなり道幅が狭いということが大きな理由ですが、基本的には、サイクリングコースの維持管理を県から移管されたということで、一番大事なのは、利用者が危険にならないように、先ほど来、草の話が出ていますから、いわゆるアスファルトの補修、穴等が開かないことというのが、一番大切なことだろうと考えています。そこで、町としても、定期的に、職員自らサイクリングコースを走って点検するということを定期的に積み重ねていきたいと思っています。

この2市1町というのは、協議会の設立というのは、現段階で考えてございません。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1番（下山千津子）

先ほどお写真でお示ししました、九十間土手の件でございますが、それは県から移管されたものではないというふうに御答弁いただきましたが、一応やはりあそこは、開成町町民が、ましてや子供たちの開成小学校、開成小学校4年生、開成南小学校の4年生が、郷土の社会科でお勉強するときの場所でございます、九十間土手というのは。ですので、移管された場所ではなくても、町として、やはりあそこは危険な、草ば一ばいで、歩道のほうにも生い茂ってまいっておりますので、凸凹な砂利のところに水が、本当に大きな水たまりが4つもできておりましたので、私も歩くのにはちょっと無理だと思いましたし、まして、子供たちには危険だと思いますので、そういった補修なども、やはり町としてお考えになっていただければと思いますが、その点、いかがでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

教育委員会事務局参事。

○教育委員会事務局参事（遠藤孝一）

先ほども述べさせていただきましたが、移管を受けたのは、サイクリングコースのみ、九十間土手のその先に穴ぼこが開いている云々という話ですが、実際は、あそこは神奈川県河川区域になるエリアでございますので、町としては、要望をしていくことが仕事になるかと思います。穴が開いているので、勝手に県の土地に土を埋めるということもできませんので、その辺は要望していきたいと考え

てございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1 番（下山千津子）

ぜひ要望を根気よく続けていって、安全な場所として、町民に喜ばれるようなところにしていただければと思います。あれはサイクリングコースと直結してありますので、やはりちょっと川の水に触れたいなというときには、あそこからおりて、酒匂川のお水に触れたりもできるような場所でございます。ぜひ、よろしくお願いしたいと思います。

続きまして、4 項目めの「自転車のまちづくりを推進するために、サイクリングコースの利用促進策は。」について、お聞きいたします。

第五次開成町総合計画後期基本計画においても、自転車のまちづくりの推進策として、具体的に観光との連携や、答弁で言われました、サイクリストをターゲットにしたイベントの開催など、さらに自転車の駅の整備なども、主に取組として明記されております。

そこで町長にお伺いいたします。このたびのサイクリングコースの管理運営を受けたことを契機と捉え、これまで以上に自転車のまちづくりを推進するために、新たにハードとソフトを兼ね備えた実施計画やアクションプランを作成して、事業推進していくお考えはございますでしょうか、お伺いいたします。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

今回のサイクリングコースの一環とまちづくりの中の自転車を利用して、環境にいい、体にいいということとは、別の話だと私は思います。

実際、サイクリングコースで、先ほどから課長が言っておりますけれども、イベントをやると、あの狭いコースの中では危険が多い。ですから、私たちがやっているのは、スポーツとしては、水辺スポーツ公園の中で、ロングライディング、湘南ベルマーレ関係のスポーツのほうの関係でやっている。開成町の水辺を拠点に、1 市 5 町の広域の中で、これ公道を使っているのですけれども、それぞれの特産品を食べたり、もらったりできるようなイベントはやっています。

もう 1 つ、駅とか、役場、また、瀬戸屋敷周辺に改良してもらった、これはスポーツではなくて、普通の自転車、要は電動サイクルですけれども、そういうのを使って、開成町の中を回遊してみただくと。そういう二本立てで、自転車のまちづくりというものを今進めている現状になりますので、サイクリングコースが移管されたからといって、それに対して、スポーツをやるなり、イベントをやるなりということは考えていません。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1 番（下山千津子）

頑張ってやっていただきましたかったなと思いましたのですけれども、それでは、サイクリングコースは、冒頭申し上げましたとおり、特に川風が心地よく、平たんで走りやすく、また、全長 8.9 メートルと、適度な距離感で、自然豊かで、町並木の景観もすばらしく、サイクリングやウォーキング、ジョギングなどの体験施設としては、また、グレードアップを図ることからでも、内外からも十分注目される観光資源にもなると考えます。

ある町民の方からも、先ほど町長答弁にもありましたように、・・ますか、御意見いただいております。

酒匂川周辺にある様々な施設や歴史的資産をレンタサイクルで巡るコースを考えて、新たな観光資源にしていっていいのではないかな。

例えば、小田原アリーナ、栢山の尊徳記念館、水辺スポーツ公園、パークゴルフ場、瀬戸屋敷、瀬戸酒造、アトリエハックなど、流域には、いろいろとすてきな施設があるから、これらをレンタサイクルで巡る。その際に、サイクリングコースを使えば、すばらしい景色を見ながら、気持ちいい風に当たれる。健康的だし、何より癒しの気分を味わえるから、この魅力を売りにしない手はないよね、というような提言をいただきました。

また、今回、聞き取りをしたときに、ある地域の住民の方ですが、お盆の時期に、毎年兄弟が 4 人集まって、どこかでおしゃべりをしたりして、楽しんだ時間を過ごすということでしたが、今年はコロナ禍なので、そういうところに行けないので、開成駅で待ち合わせをして、息子さんが足柄大橋の下まで送ってくれたと。それで椅子を持って、そこで 2 時間兄弟で、忌憚なく、遠慮しないでおしゃべりができて、とても楽しい時間が過ごせた。そういう話をされました。開成町はこんなに空気がおいしくて、川のせせらぎも聞こえて、大変いい環境で、うらやましいねというようなことを開成町のお姉さんにおっしゃったようです。そういうことでも開成町は環境がすばらしいので、ぜひこれからもサイクリングコース、頑張って運営していただきたいと思います。

それでは最後になりますが、先ほど町長おっしゃっておいりましたけれども、単独で取り組むよりも、広域連携による事業効果が大きくなるので、2 市に対して、積極的に投げかけていただきたいなというふうに私は思いますが、町長のもう一度御答弁をお伺いいたします。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

広域的な話としては、先ほど、草が、小田原のほうがきれいで、開成はそうではないという、そういうずれがあってはいけないという、そういうものは、きちんと、2 市 1 町で統一しながら、一体的にきれいになるようなことは考える必要があると

思います。

先ほど話したように、利便的なものは、やはりあのコースを使うのは、私は危ないと思っていますので、水辺スポーツ公園を拠点に、様々なイベント、あのコースを通ることもそうですし、自転車の方も、スポーツをできるだけ、サイクリングコースは通らずに、水辺の中の安全なところでスポーツ的なものはやったほうが安全ではないかと考えていますので、そういう意味で、広域的な、必要な分はきちんと連携を取る必要があると考えています。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

下山議員。

○1 番（下山千津子）

ありがとうございます。ぜひよろしくお願いいたします。

私は今回の質問をするに当たりまして、現場確認のために、自転車で回ったり、写真を撮ったり、さらに利用者から、たくさんの方からの聞き取りもできました。その中で、やはり町民が望んでいるのは、安全面や環境美化面において、これまで以上に利用者目線に立った、しっかりとした管理への期待が高いことが確認できました。そのことを期待いたしまして、私の質問を終わりといたしますが、ぜひ今後ともサイクリングコースの安全面でよろしくお願ひしたいと思います。

以上で私の質問を終わります。

○議長（吉田敏郎）

これで下山千津子議員の一般質問を終了といたします。